

令和8年 7月16日 15時00分

近 畿 地 方 整 備 局

淀 川 河 川 事 務 所

木 津 川 市 役 所

木津川堤防の不具合について(第2報)

木津川堤防右岸30k付近(京都府木津川市加茂町河原)で発生した、堤防天端の陥没に関する原因究明及び復旧方法について堤防調査委員会の有識者に助言を頂きました。

○概要

淀川堤防調査委員会の有識者による現地調査及び会議での意見交換により、陥没発生のメカニズムについては、長い年月をかけて堤防の土砂流出が進行し、加えて本年度6月24日からの長雨が契機となり陥没に至ったと推測されました。

また、陥没箇所の緊急的な復旧方法について助言を頂くとともに、今後の応急復旧として現堤防と同等の機能を確保する仮堤防を築造する案について説明し、了承されました。意見交換により得た助言を基に当該箇所の応急復旧を早急に進めて参ります。

議事概要及び現地調査・会議の状況については別紙1, 2をご覧ください。

＜取扱い＞

＜配布場所＞近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 京都府政記者クラブ
学研都市記者クラブ

＜問合せ先＞＜堤防の不具合に関すること＞

淀川河川事務所 副所長 矢間 孝司（内線206）
管理課長 山本 淳（内線331）
電 話 072-843-2861（代表）

＜河原排水樋門に関すること＞

木津川市役所 建設部次長(農政課長) 木下 勝史（内線331）
農政課長補佐 田崎 裕一（内線335）
電 話 0774-72-0501（代表）

淀川堤防調査委員会委員による現地確認及び意見交換 議事概要

1. 日時 令和8年7月15日（水） 10時00分～12時00分
2. 場所 木津川右岸30.0k地点及び木津川市役所
3. 出席者 淀川堤防調査委員会 岡二三生委員長（京都大学名誉教授）
音田慎一郎委員（京都大学大学院工学研究科准教授）
木元小百合委員（大阪産業大学
建築・環境デザイン学部教授）
中川一委員（京都大学名誉教授）
肥後陽介委員（京都大学経営管理大学院教授
（京都大学大学院工学研究科教授 併任））
西澤洋行委員（淀川河川事務所 事務所長）

4. 概要

(1) 不具合発生要因について

不具合の発生要因について「樋門内の状況調査」「石灰水による流出調査」の結果報告があり、樋門からの土砂流出による陥没であることを確認した。

(主な意見)

- ・ 陥没発生のメカニズムについては、長い年月をかけて土砂流出がゆっくりと進行し、6月24日からの長雨により土中の水分量が増加して飽和領域が拡大し、地盤の強度が低下したことで最終的に陥没に至ったと推測される。
- ・ 降雨による土砂流出だけではなく、樋門内の水位が上昇し、満水となった後に水位が低下することで土砂が流出している可能性も考えられる。
- ・ 追加調査として電磁探査を行う際は、法面の変状箇所も範囲に含めるとともに堤防に対して縦断的に幅をもった調査を行うこと。
- ・ 周辺のモニタリングを実施すること。特に降雨時は注視する必要があるため、定点カメラを設置する案を検討すること。

(2) 応急復旧案について

現堤防と同じ形状の堤防を現堤防の前面に設置する応急復旧案について報告があり、意見交換を行った結果。緊急的な対応が必要であり、応急復旧案を早急に進めることを確認した。

(主な意見)

- ・ まずは、緊急的な復旧として、流動化処理工法などを用いて充填に十分配慮すること。
- ・ 当該地区は将来築堤を行う計画があるため将来計画に対して手戻りを少なくすること。
- ・ 工事は、国交省と木津川市が役割分担し、速やかに進めること。

以上

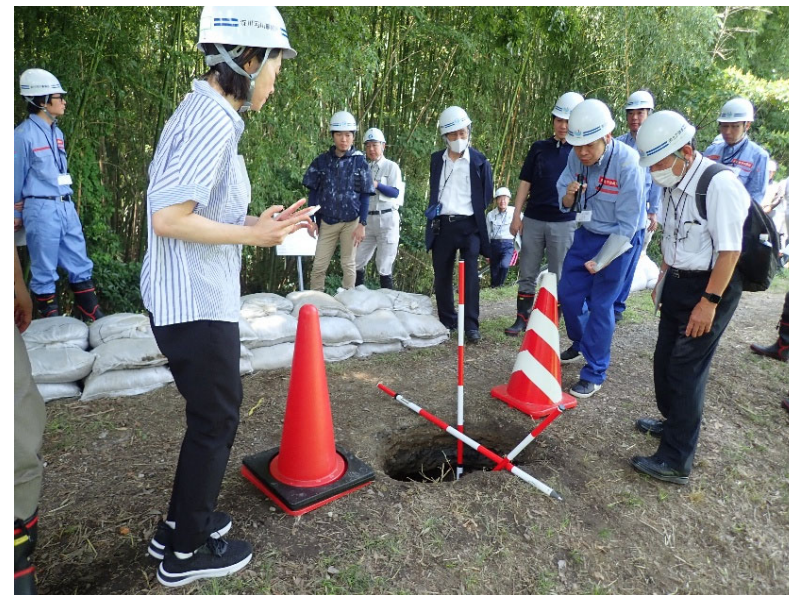
現地確認及び意見交換の開催状況

別紙2

現地確認の状況



堤防調査委員会の委員による現地確認 1



堤防調査委員会の委員による現地確認 2

意見交換の開催状況

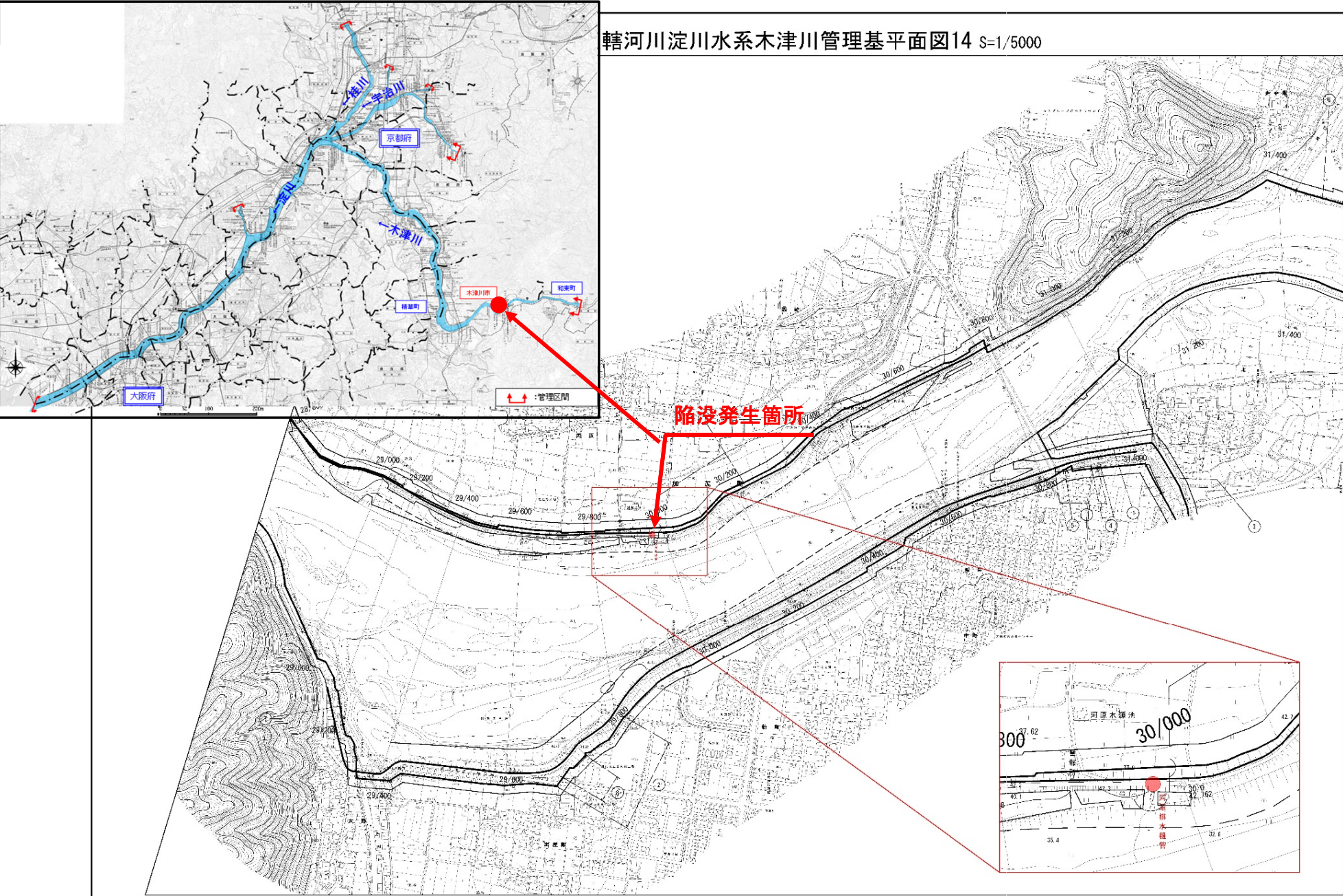


委員との意見交換の開催状況 1



委員との意見交換の開催状況 2

轄河川淀川水系木津川管理基平面図14 S=1/5000



1. 調査 平成13年2月
2. 撮影 平成13年4月
3. 測量 平成13年10月
4. 編集 平成13年11月
5. 印刷 平成13年11月
6. 発行 平成13年11月
7. 配布 平成13年11月
8. 廃止 平成13年11月